

第23回 近畿ブロック研究・研修和歌山大会分科会発表申込要領

下記の要領で口述発表の発表者を募集します。奮ってお申し込みください。

発表資格	<p>公益社団法人日本社会福祉士会に属する都道府県社会福祉士会会員に限ります。会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはかまいませんが、発表者は会員に限ります。</p> <p>※分科会発表採用者は、近畿ブロック研究・研修和歌山大会の参加申込をしてください※</p>
申込数	1人（1グループ）1発表です。
申込様式	様式1「分科会発表申込書」に必要事項を記入してください。和歌山県社会福祉士会ホームページ（ http://www.wacsw.com/ ）からダウンロードもできます。
申込	<p>第23回 近畿ブロック研究・研修和歌山大会 大会事務局 一般社団法人 和歌山県社会福祉士会 〒640-8319 和歌山県和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛6階 電話・FAX 073-499-4529 ※郵送、またはFAXにてお申し込みください。E-mailでの受け付けはできません。</p>
締切	平成27年10月30日（金） 必着
審査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込数・内容等を勘案・審査し採否を決定の上、締切日以降に申込者に個別に通知する予定です。 ・ 採用にあたっては、実践にもとづく発表を優先することがあります。 ・ 内容等については、大会実行委員会が助言をする場合があります。 ・ 採用数が定数に満たない場合、追加募集する場合があります。
採用	<p>採用数：9発表程度（各分科会3発表程度）超過した場合もできるだけ分科会数を増加して採用します。</p> <p>発表分科会は、内容やテーマによって6領域を考慮し振り分けます。後日、各発表者に通知します。</p>
抄録提出	<p>原稿はA4判に印刷したものを提出していただきます。 ※Windowsで作成したMicrosoft Word（バージョンは問いません）又はPDFファイル ※原稿はA4用紙1ページで、そのまま印刷します。 原稿折れがないよう厚紙等を当て、A4判の封筒を用い、簡易書留にて郵送してください。 様式：様式に従ってレジュメを作成していただくことになります。 なお、申込時にレジュメ提出の必要はありません。</p> <p>提出先：一般社団法人 和歌山県社会福祉士会 期日：平成27年11月27日（金） 必着 （期日までに提出されない場合には、採用を取り消し、発表を認めないことがあります。） 時間：発表は20分程度にまとめてください。</p>
発表	<p>機材：パソコン・プロジェクター</p> <p>資料：当日配布する資料がある場合は、平成27年12月21日（月）までに大会事務局までご送付ください（CD-Rにデータを入れたもの）。 ※期限を過ぎる場合は、各発表者で80部ご用意ください。</p>
その他	<p>※個人情報の取扱いについて※ 申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、各種通知文書の発送等、大会運営に必要な範囲において使用します。また、発表者名、所属（都道府県）、発表テーマについては、大会参加者の便宜のため、和歌山県社会福祉士会ホームページ等で公表します。</p>

【様式1の記入例】

第23回近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 分科会発表申込書

ふりがな ふくし あきこ	都道府県名：□▽県
氏名 福祉 明子	会員番号：10***
所属先名称 ○△□□▽	職種または役職 ○○
連絡先（ <input type="checkbox"/> 自宅・勤務先）	
住所：〒888-8888 □□県 ○○市 △△△町 ▽▽▽▽-▽▽▽▽ TEL：(□□□□)□□-□□□□ 携帯：□□□-□□□□-□□□□ FAX：(□□□□)□□-□□□□ e-mail【携帯除く】：□□□□□@□□□□.ne.jp	
発表テーマおよび発表内容の概要（注1）	
<p>テーマ： 発表希望分科会：第 △ 分科会 老人福祉施設におけるオンブズマン活動の検証とあるべき役割・機能について 共同研究（発表）者：なし</p> <p>研究目的：○○県のある老人福祉施設では、利用者の権利擁護とサービスの質の向上を図るためにオンブズマン制度を導入して4年が経過した。その制度は、利用者サービス事業者の関係調整機能というよりも、利用者の声の代弁と改善への提言に主眼がおかれている。しかし、利用者の声をオンブズマンが代替するよりも、本来的には利用者本人が施設に意見や苦情を言えることが望ましい。老人福祉施設のオンブズマン活動の現状を振り返り、あるべきオンブズマンの機能・役割について考察していきたい。</p> <p>研究方法：①オンブズマン活動の方法について整理する。②意見・苦情を内容や性格により分類する。③問題の解決方法について整理し、④そこから見えてきた問題点や課題を明らかにする。検討の範囲は、意見箱、巡回相談、施設点検、在宅サービス利用者へのアンケート、職員へのサービス評価アンケート、オンブズマン協力員の活動などである。法人のオンブズマンの機能・特徴を厚生労働省の「苦情解決のしくみ」の指針などとの比較において明らかにする。</p> <p>結論（まとめ）：オンブズマンが利用者の声の「代弁」機能を果たしているのは、①選択肢がなく利用者が対等に事業者に向かい合えない。②利用者の意識は個人の権利を主張するまで成熟していないことが背景にある。意見や苦情は、施設の整備・サービスの不満や職員の対応の不適切、入所者同士の対人関係の問題など匿名による「要望レベル」「請求レベル」の要望が大半である。オンブズマンの介入がなくても利用者の声が施設運営に反映され問題解決に利用者が参画するしくみがあれば対処できる部分が大きい。しかるに、オンブズマンは利用者の不満の捌け口としての緩衝材の役割を期待されている。意見や苦情の解決を本来の取り組むべき部署に返しそこで対処するよう指摘することが重要である。オンブズマンは法人全体の活動を包括的に捉え、第三者の立場から利用者の職員が言えないことも各部署のトップに進言できる機会をもつ法人唯一の権利擁護、サービス向上のための機関である。利用者の代弁機能に留まらず、オンブズマン運営規則に規定された権限を最大限に発揮し、利用者の声を育て施設運営に反映させていけるよう寄与することが期待されている。</p> <p>同様のテーマでの発表履歴：なし プロジェクター使用の有無：<input checked="" type="radio"/>有・無</p>	
学会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項	
特になし	

*（注1）の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください（特に結論部分）。

〈この記入例は、（公社）日本社会福祉士会の了解を得て、過去の発表者申込書記載内容を掲載しています〉

様式 1

第 2 3 回近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 分科会発表申込書

ふりがな	都道府県名：
氏名	会員番号：
所属先名称	職種または役職
連絡先（自宅・勤務先）	
住所：〒	
TEL：（ ） — 携帯：（ ） — FAX：（ ） —	
e-mail【携帯除く】：	
発表テーマおよび発表内容の概要（注 1）	
テーマ：	
共同研究（発表）者：	
研究目的：	
研究方法：	
結論（まとめ）：	
同様のテーマでの発表履歴：	
プロジェクター使用の有無：有・無	
大会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項	

*（注 1）の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください（特に結論部分）。

様式2 (レジュメの書式)

テーマ	
所属先名・職種(職名)	
発表者氏名	
(共同研究者氏名)	
備考	

レジュメの作成上の注意

- レジュメの様式は原則A4(縦長)2枚以内とします。必ず「Microsoft Word」で作成の上、上記様式を先頭ページの頭部につけて、分科会申込要領にある宛先までお送りください。
本文の体裁・字数等は自由としますが、印刷の都合上、左右の余白を30ミリ、上下の余白を25ミリ以上空けてください。
提出されたレジュメはそのまま版下原稿として使用しますので、パソコン等で作成した鮮明な原稿を提出してください。
※発表申込時には、レジュメの提出は必要ありません。
- その他の注意事項
 - 業務の内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
 - 事例に関する個人情報の保護・人権擁護につきましては、発表者が十分ご配慮ください。よろしくお願いいたします。
 - 文体は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
 - 査読の結果、書き直しをお願いすることもありますので、ご了承ください。
 - 原稿などは一切返却いたしません。
 - 発表の際、OHP、VTRは使用できません(パソコン・プロジェクター使用可)。データやイメージ資料として使用したい場合はレジュメに入れていただくか、印刷の上、当日資料としてご準備いただくこととなります。